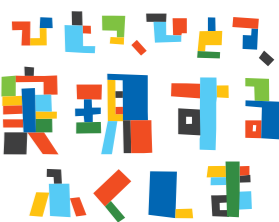


# 県議会ふくしま

## 6月定例会(6/18〜7/3開催)の概要

第98号

[企画・編集]  
福島県議会  
広報委員会



〈広告〉

# 33件の議案を可決

## 県一般会計補正予算11億300万円など

6月定例会では、外国人観光客の受入体制強化や台湾地震応援キャンペーンの実施などによるインバウンド、アウトバウンドの推進、光熱費などの増加に伴う医療機関や薬局等への支援、質の高い医療サービスの提供に向けた電子処方箋の導入支援など、総額11億300万円が計上された一般会計補正予算案を可決しました。

そのほか、知事提出議案として、条例関係14件、その他9件、議員提出議案として、「地域の中小企業・小規模事業者への支援拡充を求める意見書」など9件合わせて33件の議案を可決しました。

また、知事提出の専決処分に係る議案1件を承認し、人事関係議案3件に同意しました。

### 補正予算の主な内容

<b>1 インバウンド、アウトバウンドの推進</b>	<b>5,338万円</b>
[主な内訳]	
・外国人観光客の更なる誘客促進に向けた取組	4,000万円
・国際定期路線等開設・再開事業	1,338万円
<b>2 医療機関や薬局等への支援</b>	<b>3億8,488万円</b>
<b>3 電子処方箋の活用・普及促進事業</b>	<b>3億5,512万円</b>
<b>4 公共事業・県単公共事業・維持補修費</b>	<b>1億5,040万円</b>
<b>総額 11億300万円</b>	

## 県議会の動き



福島水素エネルギー研究フィールドについて調査

### 常任委員会が 県内調査を実施

総務、企画環境、商労文教委員会は会期外の5月15日から17日にかけて、また、福祉公安、農林水産、土木委員会は会期外の5月21日から23日にかけて県内調査を実施し、それぞれの委員会の所管事項に関する機関等を視察し、質疑応答を行った。

### 調査特別委員会が 参考人を招致

少子高齢化・地域活性化対策及び地球温暖化・災害に強い県づくり対策特別委員会は、会期外の5月8日、また、避難地域復興・産業振興対策特別委員会は会期外の5月28日に県当局や県内有志者を参考人として招致し、意見聴取と質疑応答を行った。

少子高齢化・地域活性化対策特別委員会(佐久間俊男委員長)は、「福島県人口ビジョン」及び「福島県過疎・中山間地域振興戦略」について県当局の説明を受けた。

### 政務活動費検討会 を開催

政務活動費検討会は、6月20日に会議を開き、令和5年度政務活動費収支報告書等について協議を行った。

### 海外行政調査について 協議

6月20日の代表者会議及び6月26日の代表者会議及び各派交渉会において、今年度の実施予定の海外行政調査に係る派遣人数や調査計画等について協議を行った。

## 定例会での主な質問

### 代表質問 6月20日

県民連合 荒 秀一議員

#### 人口減少対策 について

**質問** 本県においては、「消滅可能性自治体」に33の自治体が該当しており、地域社会全体を維持するため、速やかな対策が求められている。

特に、東日本大震災と原発事故からの復興・再生と地方創生を同時に進めていかなければならない本県は、他県にない大きな危機に直面しており、人口減少や若い世代の流出への対策が待たない状況である。

そこで人口減少対策にどのように取り組んでいくのか、知事の考えを尋ねたい。

**答弁** 人口減少に歯止めをかけるためには、若者や女性の声に丁寧に耳を傾け、魅力ある県づくりを進めることが重要であり、首都圏在住の若い世代の本県出身者に対してアンケート調査を実施し、働く場所として、在宅勤務などの柔軟な働き方やワーク・ライフ・バランスへの配慮、暮らす場所として、買い物や通勤通学の利用性、治安の良さを重視する声が多くみられたことから、こうした視点を深掘りし、福島の魅力を発信しながら、若者の流出抑制や移住・定住の促進等に取り組んでいく。

また、少子化対策においても、若者の声が重要となるため、今後実施する結婚や子育てに関する意識調査の結果を踏まえ、結婚・出産・子育てへの切れ目ない支援や教育の充実等につなげていく。

一方で、東京一極集中については、構造的な問題であり、日本全体で取り組んでいく必要がある。

先般、宮崎県に、私を含め多くの知事が集まり、人口減少への危機感を共有し、国に対して、東京一極集中の是正や人口減少対策の司令塔の整備を求めたところであり、私も今月、官房長官等に直接要望してきている。

人口減少対策は将来世代のための政策である。

未来の主役である子どもや若者たちが福島に生まれ育ち、働き、暮らして良かった実感できる、魅力ある福島となるよう、私自身が先頭に立ち、引き続き総力を挙げて人口減少対策に取り組んでいく。

#### その他の主な質問

・海外への情報発信について  
・県民の健康づくりについて  
・教育行政について

### 代表質問 6月21日

自由民主党 佐藤雅裕議員

#### 復興・創生の推進 について

**質問** 第2期復興・創生期間の終りが迫る中、その後の枠組みや財源の見通しが不透明な状況にあることから、これまでのとおり目に見える安心感を持って復興事業を進めることへの懸念が高まっている。

復興には長期間を要することと明白であり、復興は道半ばであることは県民の総意であるため、本県の将来を見据え、しっかりと対応していくべきである。

そこで、知事は、第3期復興・創生期間以降の復興に必要な財源の確保にどのように取り組んでいくのか尋ねたい。

**答弁** 複合災害から13年が経過した今もなお、避難地域の復興・再生、被災者の生活再建、廃炉と汚染水・処理水対策、根強い風評など、本県特有の困難な課題が山積している。

さらに、帰還困難区域全体の避難指示解除に向けた取組や、復興を支える人材確保、移住等の促進など復興のステージの

### 代表質問 6月25日

自由民主党 山内 長議員

#### 主な質問事項

1 福島ならではの地方創生  
2 農林水産業について  
3 県産品の輸出促進

#### 県民連合 半沢雄助議員

1 県内の医師確保の取組  
2 介護人材の確保  
3 先達山のメガソーラー開発

#### 自由民主党 高宮光敏議員

1 県立武道館の設置  
2 海外企業の誘致  
3 消費者教育の推進

#### 県民連合 大場秀樹議員

1 地域猫活動の支援  
2 パートナリシップ制度について  
3 放課後児童クラブの整備

#### 日本共産党 大橋沙織議員

1 先達山のメガソーラー設備工事の中止  
2 高齢者の補聴器及び安全運転支援装置について  
3 パートナリシップ制度及び選択的天婦別姓について

### 代表質問 6月26日

自由民主党 佐藤徹哉議員

#### 主な質問事項

1 少子化対策  
2 金属スクラップヤードについて  
3 観光誘客

#### 県民連合 渡部英明議員

1 会津・南会津地域の鉄道路線について  
2 南会津地域の交通空白地の解消  
3 尾瀬国立公園について

#### 自由民主党 渡辺康平議員

1 台湾との交流  
2 放射線教育  
3 匿名・流動型犯罪グループについて

#### 県民連合 安田成一議員

1 災害時の孤立集落対策  
2 若者の県内定着・還流  
3 宮川の治水対策

#### 公明党 伊藤達也議員

1 軽量飛行機を活用した産業人材の育成  
2 中心市街地の活性化  
3 教育現場の課題について

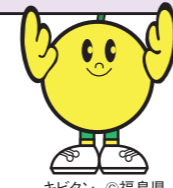
## 可決した国への意見書 (令和6年7月3日、国へ提出)

- 1 地域の中小企業・小規模事業者への支援拡充を求める意見書
- 2 地方財政の充実・強化を求める意見書
- 3 災害対策の充実強化を求める意見書
- 4 災害発生時における信頼性の高い情報連携体制の構築への支援を求める意見書
- 5 第2期復興・創生期間以降における復興の更なる加速化を求める意見書
- 6 除去土壌等の県外での再生利用の実現に向けた取組の強化を求める意見書
- 7 聴覚補助機器等の積極的な活用への支援を求める意見書
- 8 地域における「こども誰でも通園制度」の制度拡充等を求める意見書
- 9 若者のオーバードーズ(薬物の過剰摂取)防止対策の強化を求める意見書

意見書の全文は  
こちらから



意見書とは、県の公益に関する  
ことについて、県議会の意思を政府  
や国会に対し提出するものです。



キビタン ©福島県

## お知らせ

- ◆令和6年9月定例会は、9月17日(火)開会の予定です。
- ◆県議会インターネット中継(生中継・録画中継)はスマートフォンやタブレット端末からもご覧いただけます。
- ◆「福島県議会フェイスブック」、「福島県議会公式チャンネル(YouTube)」、「福島県議会X(旧Twitter)」もご覧ください。
- ◆ご意見・ご感想をお寄せください。  
TEL: (024) 521-7549  
FAX: (024) 521-7965  
メール: gikaikoho@pref.fukushima.lg.jp
- ◆詳しい情報は  
福島県議会 検索
- または  
こちらから

